

水面に映す昇龍の鏡山

谷村 三郎 作



編集発行
竜王町老人クラブ
連合会
No.78

新年のご挨拶

会長 若井 富嗣



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお祝い申し上げます。

さて、昨年は、町老ク連及び各単位老人クラブの活動に積極的にお取組みいただき、会員数も二千名近くと現状を維持し、各事業も順調に推進させていただいていること、皆様のお陰と深く感謝し厚くお礼申し上げます。

先の老人クラブ大会も無事有意義な大会にしていただき、特に「いきいき楽しく老人クラブづくり」と題して栗木先生の講演が好評がありました。老人クラブの活動の中で、多くの人との出合いや交流、親睦を深め体を動かせる各スポーツ大会や、心のリフレッシュ

が出来る研修旅行等々、健康で活動出来る老人クラブの活動こそが今、求められています。平均寿命より、健康寿命をいかに伸すかであり、私たちが日々願う、健康でいつまでも元気で楽しい生活、活動が出来る、この環境づくりの場が老人クラブであると教えていたりました。

少子高齢化と人口減少社会が進み、世帯構成の変化と独り暮らしが増加する中、本会の果す役割とは、社会福祉の増進に寄与する、老人福祉がより大きく求められています。老人クラブ活動の必要性を会員自が理解し、地域社会にどう役立つか認識を深め、豊な経験を活かし、心の絆、連帶の輪を少しでも広げていく必要があります。老人クラブの更なる発展に努めて参りますので、本年も変わぬ、御指導を賜りますようお願い申し上げ新年のご挨拶といたします。





第7回

竜王町老人クラブ大会開催

「創造と連帯の輪を広げて～心豊かな二十一世紀を～」をテーマに掲げて第7回竜王町老人クラブ大会を10月28日に町公民館ホールにおいて約250名の参加者を迎えて開催することができました。



本大会を契機として、私たち老人クラブは、これからも一層、自助・共助の精神を發揮し、連帯と協調、支え合いの輪を広げながら「地域の担い手」として、「ゆとり・うるおい・やすらぎ」に満ちた心豊かな地域づくりに取り組み、高齢者福祉の向上に期するものとして開催しました。

第一部の式典では、開会の言葉で始まり、物故者への黙祷、町民憲章の唱和、若井会長のあいさつに続き優良老人クラブ表彰、金婚者への祝詞・記念品が贈呈されました。

そして、川部副町長をはじめ、

第二部の研修では、mottoひょうご 事務局長 栗木 剛先生による「いきいき楽しく老人クラブづくり」と題して、ご講演を頂きました。

内容的には、人としゃべって行動することが、頭の体操となり脳を活性化させボケ防止につながると話される等、今後の老人クラブづくりのヒントを与えていただきましたように思います。

講演を聞かれた方からは、「非常によかったです」もう一度話を聞きたいというお声も多く聞かれました。

第三部のアトラクションは、竜王民謡愛好会と友好団体の皆さんによる、民謡、三味線、ウクレレ、津軽三味線等が演じられ、大きな拍手とともに大会を

北沢県老人クラブ連合会長、蔵口議会議長からご祝辞を賜り、引き続き大会宣言が山本副会長より高々と読み上げられ、参加者全員の賛成により採択されました。

終了しました。

今回の大会で、竜王町老人クラブ連合会長表彰、祝詞を受けられました方々は次のとおりです。

●優良老人クラブ表彰

須恵老人クラブ

弓削老人クラブ

●金婚者祝詞（敬称略）

村田茂太郎・千代子	和田榮之助・一枝
神田重夫・久枝	谷口三郎・艶子
樋田源治郎・静子	森小西
和田次郎・きよ子	嘉市章子
井口八市郎・妙子	儀隆・睦子
佐西利七・八重	太助・澄江
大西信廣・初枝	
山中壽善・豊子	
山添茂・登美	
近藤重男・重子	
若井捨治郎・幸子	
園田俊雄・つぎ枝	



西村	森	小西	和田榮之助・一枝
			谷口三郎・艶子
			森小西
			嘉市章子
			儀隆・睦子
			太助・澄江



田中	竹内	松井	菱田	良夫・喜代子
				亀一・春江
				小林治雄・節子
				榮市・初美
				治・美津子

土・日曜特価で
おなじみの！

ライフショップ
なかまつ

竜王町西川 (有線) 58-0531
FAX 58-1731

毎週水曜日は、**2倍**ポイントです

酒菜よしつね

◎仕出し料理

蒲生郡竜王町鏡1725

TEL 58-1832

仕出し割烹
よしつね

無事金婚式を迎えて

須恵 小林 節子

ここにちは ここにちは 世界の国から……三波春夫の歌が全国津々浦々に流れた万国博覧会。そして夢の超特急、新幹線開通と華やかで慌ただしかった昭和四十年。

当時、主人は新幹線米原駅に勤務、私は国鉄大阪電気工事局と勤務地も西と東で二～三度逢つた位。

主人の勤務先の知人の仲介にて結婚へのレールが敷かれ、先ず父の意に叶つた結婚でした。

非番には農業を手伝う主人に

父は大層喜び、毎晩二人で盃を酌み交わしていた事が、今懐かしく想い出されます。

その後、数年経つても私達は子宝には恵まれず、一人で京大へ通つた事。続いて父の大惨事、母の度重なる病気と決して平穏な日々ばかりではなく、その折々の心痛が今、脳裡をかすめます。



子の無い淋しさは、ふとよぎりますが、これからは二人支え合い、残された余生を明るく穏やかに送りたいと念じております。

又、式典の基調講演で栗木先生が熱く語られた「脳トレ」に励むべく、地域の皆様や友達との絆を大切に交流の輪を広げてまいりたいと願っております。

最後になりましたが、私達二十二組の夫婦に対し、御来賓の方々始め、若井会長様、役員の皆様より温かい御祝辞を頂戴致し、身に余る光栄とこの紙面をお借りし、厚く御礼申し上げます。

西出老人クラブの今後の目標としては「新規加入者百パーセント」と「現在未加入者への働きかけ」を掲げ会員相互の親睦を図りたいと思っています。先般、竜王町老人クラブの大会で講演していただいた栗木先生の「老人クラブへの参加呼びかけた」を参考にして加入率を上げたいと思っています。

西出老人クラブ

会長 竹井 計

高令化社会を迎え私達老人クラブでは明るく健康で仲の良いグループを目指すべくがんばっていきたいと思います



西出老人クラブ旅行 於 長島温泉 平成26年10月15日

支部の活動

須恵老人クラブ

中井佐太郎

竜王町老人クラブ大会も今年で七回目ということですが、初めての機会を頂き、期待を持つて参加致しました。会場には各老人クラブより大勢の皆さんが参加され、盛大なうちに開会されました。

今年度の優良クラブとして表彰されましたことは、今日までの先輩皆さん方のご努力と、会員皆様の深いご理解とご協力のお蔭であるものと感謝いたしますとともに、表彰を受けた重みを身をもって感じました。

年間行事としては、年度初めの定期総会に始まり、六月には自治会の主催で、婦人会、子供会、その他各種団体の役員様のご協力により敬老会を催して頂きました。ゲーム、余興等いろいろ計画して頂き、若い人達と一緒にになって、時間のたつのも忘れ有意義で楽しい一日を過ごさせて頂きました。



第35回 老人連ゲートボール大会 開催される



連合会主催のゲートボール大会を7月18日（金）にドラゴンハットで開催いたしました。

参加者24チーム、160名余の選手が日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されました。

以下、成績は次のとおりです。

- 優勝 小口Bチーム
- 準優勝 岡屋Aチーム
- 第3位 鵜川チーム

第22回 老人連グラウンドゴルフ大会 開催される



連合会主催のグラウンドゴルフ大会を9月19日（金）開催いたしました。

参加者54チーム、360名余の多くの選手が参加されました。

また、ホールインワン指定ホールでは23名もの選手が達成されました。

以下、成績は次のとおりです。

- 優勝 川守Aチーム
- 準優勝 橋本Aチーム
- 第3位 西出Aチーム

また、西川老人クラブとの合同旅行で八幡方面に行き、日頃の親睦を深めました。

その他活動として、年四回集落近辺の草刈り、掃除をさせて頂いております。今年度は新たな活動として、地域の消防団員さんの欠員の話を聞き、シリバー消防隊のご協力のもと消火器具の点検、防火水槽の掃除のお手伝いをさせて頂きました。

今後も微力ではありますが、安心、安全な地域のため、また、少子高齢化が進む中誰もが願う「健康で生きがいのある生活」を目指して、老人クラブ活動に積極的に参加させて頂こうと思つております。

スポーツと健康

橋本 西村 久一

私は社交ダンスを青年団時代の若い頃、友達と近江八幡の井狩ダンス教室で習い始めました。昭和三十四年に大津の電機会社に就職しましたが、社内は社交ダンスが盛んで、ダンスパーティも開かれ、仕事の帰りには近くのレッスン場によく通いました。

会社を定年退職後は、竜王町公民館自主活動グループの社交

ダンスが盛んで、ダンスパーティも開かれ、仕事の帰りには近くのレッスン場によく通いました。

弓道は、会社を退職後の平成九年に竜王町地域振興事業団の第一回弓道初心者教室を受講してから始めました。

翌年に有志で竜王町弓道会を結成し、会の活動をスタートさせました。

その後、平成十二年に竜王町弓道場が竣工し、ここを拠点に活動を行っています。

竜王町は日置吉田流弓術発祥の地として、日本弓術史に大変重要な意味を持つ人物を多く輩出し、近代弓術確立の舞台と成ったということで、本町と弓道との大きな結びつきとなりました。

この様な背景も踏まえながら竜王町での弓道振興を願いつつ今日まで弓道に励んで来ました。竜王町弓道会では、毎年初心者教室を開催して、もっと町内の弓道爱好者が増える様に、努力を重ねております。



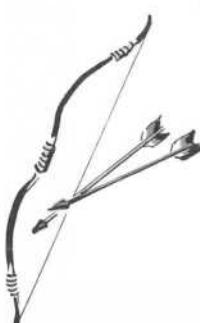
ダンスクラブに入会し、現在も活動を続けていますが、このクラブは昭和六十二年に竜王町老人クラブ内に結成されたと聞いています。

又、グランドゴルフは、老人クラブに入会してから始め、今は橋本グランドゴルフクラブと竜王町グランドゴルフ連盟や滋賀県の連盟に入会し、楽しく活動をしています。

この様に、色々のスポーツに取り組みながら、多忙な日々を過ごしております。

どの競技を捉えても、目標を極めるには、それぞれに奥深いものがあり大変ですが、どれも皆毎日がチャレンジです。

身体は高齢化と共に、若い時と同じように動きませんが、永年続けて来たそれぞれの競技に継続して取り組み、仲間と交流し、技術を磨き、心身を鍛えることが自己の健康維持に繋がって行くものと信じ、努力を重ねています。



弓削メディカルクリニック

診療案内

TEL 0748-57-1141

	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
15:00~16:00要予約	○	○	○			
16:30~18:30	○	○	○	○		

小児予防接種外来：毎週金15:00～15:45（要予約）



内科・小児科・家庭医療



竜王ダイハツ

〒520-2571 滋賀県蒲生郡竜王町西横関193-3
TEL : 0748-58-1046 FAX : 0748-58-1444
E-mail : ryuohdaihatsu@leto.eonet.ne.jp

世代を超えた 団結の力

—三十三年式年大祭に想う—

田中 勝見久男

三十三年に一度行われるとい
う珍しい祭り苗村神社三十三年
式年大祭が去る十月十一日から
十三日までの三日間にわたり斎
行されました。

踊り子の子どもたちや勇壮な
山車（だし）、太鼓などが連なつ
て、お囃子の賑やかな音色と共に
境内に集まっています。そして
それぞれに古式催しが奉納さ
れました。

二日目は、一〇〇〇人を超える
人達によるお旅所への渡御行
列があり、すばらしい歴史絵巻
を見る事ができました。

三日目は、二六〇人を超える
稚児行列と献花が行われました。
この祭りを斎行するためには村
の氏子達は七年も前から奉賛金
の積立てを始め、大祭委員を選
出して準備を進めてきました。

私も大祭委員として参画させ
ていただきましたが、少子高齢
化で子どもがない、若者も勤

め人が多い、年寄りは多いがあ
まり間に合わない、本当に出来
るやろうか、と心配からの始ま
りがありました。

まず子どもたちは女の子にも

参加してもらう、さらに村から
出ている子どもたちにも参加し
てもらつてやつと人数の確保が
出来たということでした。

小さな子どもたちも夏休みを
利用して踊りの練習を繰り返し
行い本当に頑張りました。

笛や鉦、太鼓によるお囃子を

しなければならないが、はたし



て若者達がやつてくれるだろう
かと心配であります。が、二十
歳から三十歳位までの青年が全
員参加で早くから練習を始めて
くれました。

初めて吹く笛の難しさに戸惑
いながらも毎週休日に集まり練
習に励む姿が多くの人々に感動を
与えました。

いちばん大事な山車（だし）
の製作は、担当委員さんを中心
に一年以上も前から構想を描
き、台車の調達から骨組み、飾
り付けまで、たくさんの労力と



様々な技の結集で立派に完成を
していただきました。

三日間の大祭は、悪天候の予
報を吹き飛ばし日差しが見える
程の良い天気となり、境内いつ
ぱいの人達で賑わいすべての行
事が無事に斎行されました。

この大きなお祭りに参画され
た多くの人達の願いがお天
氣の神様に通じたような気が
しました。

そしてこれだけの大きなお祭り
をやり遂げられたのは一歳の子
どもから八十歳を超えるお年寄
りまで、それぞれが役割を果た
し力を出し合つた世代を超えた
団結の力ではないかと、このお
祭りを通じて大事なことに気付
かされたのです。



第五十三回 滋賀県老人クラブ大会

開催される

第五十三回滋賀県老人クラブ大会が去る十一月十九日(水)米原市の県立文化産業交流会館において、県下各地域から参加のもと盛大に開催されました。

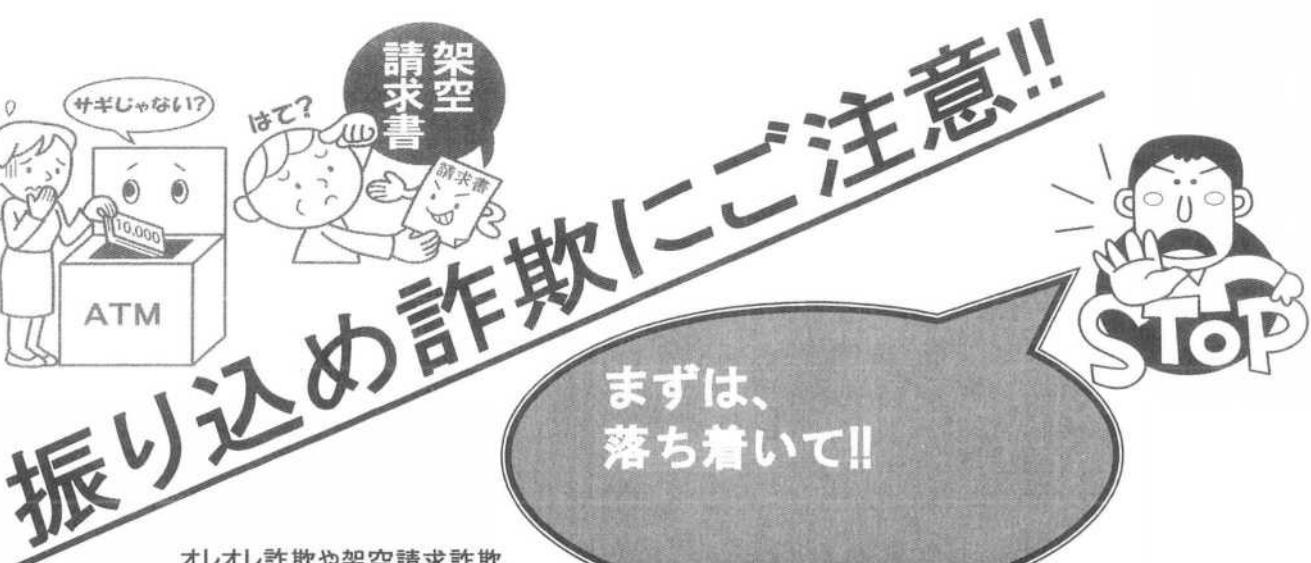
今年のテーマは「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」でした。

式典では知事表彰、連合会会長表彰、全国老人クラブ連合会会長表彰(伝達)が行われました。

滋賀県老人クラブ連合会会长表彰で、優良老人クラブとして「西出老人クラブ」が表彰されました。

式典の後、滋賀県知事・滋賀県議会議長・地元米原市長のあいさつがありました。謝辞に続いて、今後の進むべき方向を示す大会宣言が採択され、講話として、滋賀県警察本部から、特殊詐欺被害の状況と防止に向けての話がありまし

り、高齢者が五十人、被害者全額では六四、二パーセントを占めているということあります。午後の講演では、前和歌山県立医科大学学長の板倉徹氏から「一〇〇まで元気に生きるコツ」と題して「左右の脳の役割分担」「認知症の症状」等について頭の体操等を交えながら話され、最後は「全員で『青い山脈』を唄い閉会となりました。



オレオレ詐欺や架空請求詐欺、融資保証金、環付金等詐欺など手口はさまざまです。

あれ？っと疑問に思ったら、まずは確かめましょう！確認することで、被害を防ぐことができます。



平成26年12月
「特殊詐欺多発警報」
が発令されました。

お金を要求されても、すぐに振り込まない。

利用した覚えのない請求は、無視する。

**短歌****”大祭り“**

勝見美智子

教えられ夜々に囃子を勤しみて
幾日なるや今日大祭り
山車に鹿ともみぢの揺れ合ひて
農道を行く秋空高し
渡り来し鐘と太鼓の音響き
竜王平野の果てまで届きぬ
コロコロコ小さき子等の得意気に
それぞれの思考凝らして山車
陣笠揺らして太鼓叩きぬ
苗村神社の山道賑わう

”あたりまえに感謝“

岡屋 一女性

弓削 K・T

朝目がさめて

深呼吸する

手足が動く

大小も出る

朝のあいさつ元気よくすまし
一日の始まり

嬉しいなあ、ありがたいなあ

感謝、感謝、――

七十年余りの長きに渡り、農業とサラリーマンを両輪に働き続け、七十七歳の喜寿を迎えてみれば、喜怒哀楽の数々と、多くの人達に支えを受けながら、多忙なりに幾多の試練を乗り越えてきました。

無我夢中で走り年輪を重ねてきましたが、今日の自分があるのは色々な方達との出会いを通じて感じる運命の糸であり、数多くの友人、隣人、諸先輩方の暖かいご指導、ご支援の賜物と日夜感謝し、日々過ごしております。世間では、『老いを嘆かず、老いを楽しむ』の言葉を良く耳にしますが、人間歳を重ねるほど、望むと望まざるに拘わらず、老いと痛みが待構え自他悲しみの数が増すばかり。子供達は未来への限りなき夢と希望がありますが、老いた我が身には

”日々是好日“

今を感謝し、自分の人生を自分らしく生き抜いてこそ価値がある様に感じます。

一〇三歳を迎えた、聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生はその著書の中で、『長寿の秘訣は食べ物で、良質なたんぱく質とプロッコリーなどの緑黄色野菜で、豊かな自然で取れた地の糧を大切にし、感謝を忘れずに』と言われており、今なお現役で日々診察に励んでおられます。このように、人と人との絆を大切にする事で、明日の夢につながる人生となります。

今日を大切にするから明日が見える。

夢に近づく人生とは、集う・学ぶ・結ぶに尽きる。

普通の生活を願い、自分の生きがいを押し求め趣味の農業や畠仕事、旅先での人や自然との出会いを大切に、残った時間を自分らしく生き続けたいと思います。

合掌 感謝、感謝、――
嬉しいなあ、ありがたいなあ
何時までも、元氣で
嬉しいなあ、ありがたいなあ
体に気を付け

龍壽冠幼

開卷 平成二十六年十一月二十八日(金)
企画 竜王町老人クラブ連合会

一評通り高点

●多評通り

一	煙たくて	苦言の中にある温み	正二
二	咲かす花	老いてなお増す好奇心	竜子
三	腰曲がる	背中に感謝の陽を浴びる	正二
四	絹の肌	産着に眠むる世の宝	正二
五	風に聞く	湖の機嫌を知る漁師	功
六	煙たくて	程良い距離に居て気楽	ヒサ子
七	叱られて	ごめんなさいが言える子に	ヒサ子

●神田吟月宗匠選

天	地人二三三四五六	腰曲がる 黙契の妻農一代
		絹の肌 産着に眠むる世の宝
		風に聞く 望郷恋しく夢に見る
		風に聞く 古城の秘話にある涙
		煙たくて 新居安らぐ若夫婦
		腰曲がる 叙勲に優る鍬と杖
		煙たくて 苦言の中にある温み
		絹の肌 百合子 正二
		天性の美持つ果報 百合子 正二

古株鏡水宗匠選

天	風に聞く	輝く未来どんな色
地	腰曲がる	農一筋で半世紀
人	絹の肌	産着に眠むる世の宝
二	風に聞く	湖の機嫌を知る漁師
三	腰曲がる	契り結んで共白髪
四	絹の肌	青春の美に湧く笑顔
五	腰曲がる	苦節に耐えて八十路生く
六	煙たくて	久男
七	腰曲がる	程良い距離に居て気楽
八	一家背負った父の汗	ヒサ子
九	風に聞く	惠美子
十	煙たくて	久男
	絹の肌	正二
	親から受けた宝物	紀子
	里にマンションビルが立つ	陽子
	忘年会は上司抜き	ちゑ子
	夢を叶えて呉れますか	栄三
	判者	

●西村吟雪宗匠選

天	煙たくて	素直になれぬ羈糸
地	腰曲がる	默契の妻農一代
人	絹の肌	ファンデーションが効く若さ 大和
二	風に聞く	ちまたの噂流れ着き 美津子
三	薬飲む	余分はないのになぜ余る 幸三郎
四	腰曲がる	意思是直線我は曲げず 平一郎
五	煙たくて	居なけりや困り居ると邪魔 喜代美
六	絹の肌	粧わなくて生地の何ん 美津子
七	腰曲がる	背中に感謝の陽を浴びる 正二
八	煙たくて	はらわたを干す姑の留守 功
九	絹の肌	産着に眠むる世の宝
十	風に聞く	湖の機嫌を知る漁師
追吟	煙たくて	人生の標べやはり姑
判者	功	正二



風に聞く 老いゆく吾の着地点

童子

竜寿の友

天	叱られて	若き涙が今光る	陽子
地	裾模様	交わした契り今も尚	喜代美子
人	せちがらい	言葉交わさず顔も見ず	美津子
二	咲かす花	老の集いに薄化粧	美知子
三	叱られて	やがて大樹えなるぬくみ	ツユ子
四	空高い	遠回りする散歩道	平一郎
五	せちがらい	買物袋に税がつく	百合子
六	咲かす花	老いてなお増す好奇心	竜子

卷之三



天	腰曲がる	背中に感謝の陽を浴ひる	正
地	煙たくて	苦言の中にある温み	
人	絹の肌	無垢の衣装に幸が満つ	ちゑ子
二	腰曲がる	叙勲に優る鍔と杖	正一
三	薬飲む	飲んで安堵の我が心	
四	腰曲がる	老いの摂理を受け入れる	美知子
五	絹の肌	曾孫のほっぺにそつと触れ	
六	煙たくて	家の重しがうまくきく	宗之典
七	絹の肌	天性の美持つ果報	
八	風に聞く	百合子	
九	腰曲がる	意思是は直線我は曲げず	平一郎
十	風に聞く	陽子	
追吟	腰曲がる	成せる事ありありがたく	
		判者	竜子

●安井彌衣宗匠選

天	咲かす花	愛温めてゴー ルイン	紀子
地	空高い	三十余郷の神集う	正一
人	叱られて	明日へ導く母の愛	
二	咲かす花	今日大輪の晴れ姿	恵美子
三	空高い	晴れの門出を祝う朝	紀子
四	空高い	希望に燃える子等の夢	ツユ子

●山中流石宗匠選

七	裾模様	敷居を踏まぬ白い足袋	功
八	叱られて	奥山越えし今日の幸	松江
九	せちがらい	向う三軒死語となる	美津子
十	空高い	三十余郷の神集う	正一
追吟	叱られて	あの時ありて今の在り	判者
天	咲かす花	生涯かざる種を蒔く	恵美子
地	叱られて	芽が伸びて行く愛の鞭	ツユ子
人	せちがらい	悪がはびこる電話口	久里
二	咲かす花	長寿の土壤に感謝あり	喜代美
三	裾模様	礼服へ妻別の貌	功
四	空高い	陽は万象に微笑みて	ツユ子
五	せちがらい	せちがらい向う三軒死語となる	美津子
六	裾模様	嫁ぐ涙の晴れ姿	ちゑ子
七	叱られて	愛込めし語と子よ悟れ	とし子
八	咲かす花	内助の功に男の背	陽子
九	せちがらい	あの手この手で人騙す	陽子
十	空高い	五感が冴える郷景色	ちゑ子
追吟	咲かす花	善行永遠の大輪に	判者

古株氏謗宗匠選

五	せちがらい	心の余裕保ちたし
六	咲かす花	平素の努力実を結ぶ
七	裾模様	鶴と亀舞うこの佳き日
八	叱られて	始めて親の心知る
九	咲かす花	丹精へ菊答え出す
十	せちがらい	世間の風が身にしみる
追吟	咲かす花	白無垢バラに染まる愛
	判者	和男
		功
		喜代美
		陽子
		宗之典



老人クラブ傷害保険

お手頃な保険

クラブを通じて 何歳でも / お一人でも / いつでも

加入年齢に制限なし

掛金の年齢割増なし

印刷物のご請求、保険加入等に関するお問い合わせ

都道府県・指定都市老連、市区町村老連または

① 全国老人クラブ連合会 保険係

03-3597-8770

受付時間 9:30~17:30
(土、日、祝祭日休)

Tel 100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目5-1 霞が関IHFビル 電話03-3597-8770

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社

(担当課) 医療福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付付帯普通傷害保険、普通傷害保険)の内容について紹介したもので。詳細につきましては、「募集案内チラシ」をご覧ください。またご加入にあたっては、必ず「ご加入の際の注意事項」「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。

総合型

24時間いつでも、どこでもケガが心配
という方におすすめ

平成25年10月1日改定

平成25年9月1日以前の
お申込みから適用

年間掛金
3,500円

24時間型
活動中の
ケガの場合

活動中以外の
ケガの場合

日常生活全般のケガを補償	年間掛金		総合型 3,500円
	ケガをしたときの状況	年間掛金	年間掛金
死亡保険金	45万円	91万円	136万円
後遺障害保険金 (クラブ活動中のみ対象)	45万円	—	45万円
入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	1,000円	750円	1,750円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	500円	1,150円

■クラブ活動中のケガの場合: 青色 + オレンジ色 の合計 赤色 の補償額が支払われます。

■クラブ活動中以外のケガの場合: オレンジ色 のみの補償額が支払われます。

●「総合型」年間掛金/5,000円、10,000円タイプもご利用ください。

●クラブ活動中に限定した「クラブ活動型」年間掛金/500円、1,000円、2,000円タイプの
お申込みもお待ちしております。
13-T-03899-2 平成25年10月作成

原稿募集

次回発行(八月一日予定)の広報の原稿を募集します。普段思うこと、私の自慢、旅行記、趣味活動等なんでも結構です。会員の皆さまからの楽しいご投稿をお待ちしています。

◆原稿用紙は、「町老ク連」専用用紙、もしくは市販の原稿用紙四百字詰めを使用。用紙が必要な方は町老ク連事務局までご請求ください。

◆原稿は、題名、住所、氏名を含め五百字以内。写真があれば一緒に提出して下さい。

なお、パソコンを使用される方は、一行に一四文字でお願いします。データー保存(原稿・写真)されている場合はその機器をお貸しください。

◆俳句、短歌、川柳、詩は用紙を問い合わせん。ご自由に投稿ください。

原稿締切

平成二十七年五月三十一日

宛先 町老人クラブ連合会
事務局まで

編集後記

平成26年度交通安全スローガン

近江路を 笑顔でつなぐ 無事故の輪

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

車の運転及び自転車乗車時は……

“早めの点灯 4時からライト”

歩行者は、夕暮れ時に外出するとき……

反射材の活用と明るく目立つ色の服装を着用

会員様、教養部員様、事務局等のご協力、ご尽力で第七八号が発刊できますこと、一寸早い町老ク連の迎春準備ができたと嬉しく思っています。

今回も幾星霜の人生経験ならではの会員様の含蓄ある言葉、原稿をいただきましたこと有り難く思っています。来る年が幸せ多い年となることを祈っています。



●インキ: 大豆油インキを含む植物油インキ

●印刷: 有害な溶剤を排出しない水なし印刷